



令和 6 年度 補助事業等実績報告書

令和 7 年 4 月 9 日

函館市長 大泉 潤 様

住所 北海道函館市万代町 14 番 32 号

補助事業者等

氏名または団体名 万代町商興会
および代表者氏名 北村 千尋

補助事業等の名称 函館市商店街等持続化支援事業補助金 (商業機能等強化事業)

令和 6 年 1 1 月 2 2 日函経商をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、令和 7 年 3 月 2 5 日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 5 0 0 , 0 0 0 円

補助金等領収済額 金 5 0 0 , 0 0 0 円

補助金等領収未済額 金 0 円

補助事業等の収支決算書

(単位:円)

収入の部

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
函館市補助金	500,000	500,000	500,000	500,000	0	0	
自己負担金	360,000	360,000	308,792	308,783	△51,208	△51,217	
協賛金	40,000	40,000	52,000	52,000	12,000	12,000	
合 計	900,000	900,000	860,792	860,783	△39,208	△39,217	

支出の部

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
報償費	150,000	150,000	124,458	124,458	△25,542	△25,542	
委託費	580,000	580,000	572,000	572,000	△8,000	△8,000	
備品購入費	50,000	50,000	50,109	50,100	109	100	
役務費	54,000	54,000	52,370	52,370	△1,630	△1,630	
需用費	66,000	66,000	61,855	61,855	△4,145	△4,145	
合 計	900,000	900,000	860,792	860,783	△39,208	△39,217	

※実績報告の場合 収支差引額 0 円

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
5. その他必要と認めた書類を添付すること。

補助事業の効果分析報告書

補助事業区分	☐ 空き店舗等活用事業（ソフト事業） ※該当する区分に ☒ ☒ 商業機能等強化事業
実施事業概要	※本年度実施したすべての補助事業の内容を記載すること。 メインの通りとなる万代町国道5号線沿道の街路樹を幻想的なイルミネーションで装飾し、夕刻から就寝時間頃までライトアップする。また、来街者の促進と万代町商興会の魅力のPRのため、イルミネーションの写真をInstagram及びFB等に投稿するフォトコンテストを行う。
事業効果	※本年度実施事業が、どのような効果につながったのか具体的に記載すること。 ・万代町商興会及び万代町のイメージアップ（明るくきれいな町） ・万代町商興会のPR ・冬の夜間は非常に暗くなり来街者が少なくなるが、イルミネーションを実施したことでアンケート回答者のうち約5割の方が初めて夜間に来街したことがわかり、夜間の来街者数の増加につながった。
事業連携	※他団体との連携があれば団体名と具体的な連携内容を記載すること。 特になし
改善点等	※本年度実施事業の課題と改善点・改善方法等を記載すること。 昨年度のイルミネーションの課題としてイルミネーションの灯りが少ないという声が役員会にて挙がっていたが、予算の関係上もあり、苦肉の策として本年度はソーラーイルミネーションを追加した。しかし、通常のイルミネーションと比較するとイルミネーションの光が弱いことや、車が通るとその明かりでイルミネーションが消えてしまうこと、街灯の光でイルミネーションがつかない箇所がある等の課題があった。

目標に対する検証結果	※事業計画書に記載した目標について、具体的な検証結果を記載すること。 【イルミネーション&フォトコン参加・協力店舗数（目標：構成員の6割以上）】 - 令和5年度：17店舗⇒令和6年度：24店舗（<u>会員店舗/構成員の約9割がなんらかの形で参加・協力した。</u> 【フォトコンテスト参加人数（目標：20人）】目標結果となった。 - 応募人数は昨年度の約1.5倍、作品数は昨年度の2倍以上 18人33件（令和5年度）⇒26人70作品（令和6年度） 【フォトコンテスト参加者へのアンケート調査（目標：半数以上が回答）】 - 参加者との統一された連絡手段がなかったため、アンケート調査をフォトコンテスト受賞者のみの調査となったが受賞者11名全員から回答を得ることができた。次回以降はフォトコンテスト応募時にアンケートに回答してもらえ等の工夫を検討する。 【会員へのアンケート調査（目標：回答数の8割が「効果があった」と回答）】 - 回答者の全員が何らかの「効果があった」と回答した。 以上のことから、事業の目標を十分に達成できた。
事業全体の評価	※数値評価やアンケート等による声から拾った効果など、具体的に記載すること。 【Instagramフォロワー数】昨年度の約2倍に増加 (令和6年3月末) 135 フォロワー ⇒256 フォロワー（令和7年3月10日時点） 【Instagram投稿閲覧アカウント数】昨年度の約15倍 100 アカウント（うちフォロワー72、フォロワー以外28）* ⇒1,637 アカウント（うちフォロワー12%、フォロワー以外88%）** *R5実施期間（令和5年12月28日～令和6年3月26日） **R6実施期間（令和6年12月20日～令和7年3月10日） 【受賞者（11名）及び会員店舗へのアンケート結果】添付資料1参照 上記の結果により、本事業により万代町商興会の活動が広く市民に認知され、万代町商興会及び万代町のイメージアップとPRにつながったといえる。また、受賞者の8割が「本事業が万代町への来街のきっかけになった」と回答し、半数が「本事業以前には夜間に来街/来店したことがない」と回答したことから、本事業により万代町への夜間の来街者の増加につながったといえる。
今後の方向性について	※商店街等において、翌年度以降に取り組むべき事業や課題を記載すること。 アンケート結果より、フォトコンテスト受賞者の約8割が「今回のイベントが万代町への来街のきっかけになった」と回答したのに対し、会員店舗側の回答では「フォトコンテストによる万代町・万代町商興会への来街の増加につながった」と感じた店舗は1割に満たなかったため、事業実施方法について再度会員店舗間で協議した上で会員店舗への直接の来店増加に結びつくよう実施したい。